

中国との通信の切断を考えるべき
2025. 7. 12

昨日は、webを見ていたところ、急にサイバー攻撃を受け、HDDがクラッシュした。
ここ何日か、サイバー攻撃を受けていなかったのも、油断していたというのもある。

私は、「人民解放」というのは、何百年とかけてやれば良いと思っている。単純に言えば、
世界中に、合衆国のような国を作れば良いということである。それを、革命（つまり、統治者を倒して）でやろうとするのか、
そうでないのかには、大きな差がある。

中国も豊かになって、前者のような考え方を持っても良さそうだが、まだ革命は捨てきれないのだと思う。私は、一般市民にとってそれは迷惑だと思う。できれば、統治者と講和してくれと思う。

私は、革命派ではないので、はっきり言って、革命派は敵である。
その敵と戦うのはわかる話だ。相手もそのつもりでやっているであろう。

人民解放軍は、やはり、革命を考えていると。
私にとっては、それは認められない。

誰かを倒しての繁栄ではなく、
平和的に繁栄しなければならない。

人民解放軍は、日本のインターネット環境で、サイバー攻撃をする能力を保有しているようだ。
昨日の私のPCにしかけられた攻撃を、大量にできる能力があるとすれば、
日本が有事となったときに、日本にある大量のコンピューターを壊す能力を持っているということである。
これは、見逃せない予兆である。

それでは、日本人が、日本経済が、パニックになるであろうから、
中国との通信を切断する準備を整えたほうが良いと思う。

通信ができなければ、サイバー攻撃もへったくれもないだろうから。

多分、革命を続けるのだろう。
それは中国人の自由である。
ただ、革命による被害は許容してはいけない。

革命による被害は、弁済されるべきである。
それがなされないとすれば、

被害を出す革命は、悪いものである。
その悪いものと戦わなければいけない。
悪いものに負けてはいけないから。

私は、一度、中国の革命派とまあまあやっていけるのではないかと思った。

普通の中国人は仕事に励んでいると思う。善良な市民だ。
そうではなくて、革命派との付き合いの話である。

先月にサイバー攻撃を受け、昨日も受けた。
これは、中国の革命派との対話は困難だという事実なのかもしれない。

もはや戦う線を考えなければならないと。
「戦う」というより、平和を守らなければならないと。

中国の革命派は平和の敵である。

eizo@eizo09.com
エイゾウ